

南仏治安情報 (2013年03月)

■プロヴァンス地方

1. イスラム過激派関係者の逮捕

マルセイユ空港の位置するマリニャーヌ市で3月7日、バール県のサン・シル・シュル・メール市で8日、イスラム過激派を自称する男計3人が逮捕されました。警察は昨年11月よりインターネット上で容疑者の動向を監視しており、今回爆発物を製造するための物品の購入が確認され、テロ行為を準備している可能性が高まったとして検挙に至りました。家宅捜査の際には拳銃2丁と周囲数百メートルを破壊する威力のある爆薬が押収されました。

2. 商店を狙った強盗事件の発生

ブーシュ・デュ・ローヌ県では3月に商店を狙った強盗事件が7件発生しました。発生地の内訳はマルセイユ市で2件、ヴィトロル市で2件、商業施設が密集するブランドカンパーニュで3件となっています。ブランドカンパーニュで発生した強盗事件の内一つは、スーパー「Géant-Casino」で発生し復活祭前日の土曜日であったため、店内は多くの買い物客でごったがえしており、犯人グループは4発以上の威嚇射撃を行ったので店内は混乱しました。中には乳幼児を抱きかかえたまま床に伏せる母親や、逃げる際に転んで軽傷を負う者の姿もあり、4人の女性がショックを受けるなどして病院に運ばれました。幸い、銃撃によるけが人はでませんでした。

3. 連続タイヤパンク犯の逮捕

エクサン・プロヴァンス市で相次いで車等のタイヤをパンクさせていた男が3月中旬逮捕されました。逮捕されたのは市職員の男で、気に障る事があり酒を飲んだ時などに普段から不満に思っていた市民の車のタイヤを刃物でパンクさせていたと供述しており、約3週間で27台以上の自動車及び自転車が被害に遭いました。

4. 返還対象の盗難品について

マルセイユ市周辺で今年1月末までの数ヶ月間、組織的に窃盗を繰り返していたグループの家宅捜査時に押収された盗難品が警察のインターネットサイト上で閲覧可能になっています。提出されている被害届に記載されている被害品が掲載品に該当する場合、または被害前に写された被害品の写真、購入証明証により該当する品の所有者である事が確認できる場合返還されます。閲覧は以下のサイトで可能になっています。

www.avisderecherches.interieur.gouv.fr

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. 連続自動車盗被疑者グループの逮捕

ニース市周辺では車両の盗難事件が問題となっていました。3月中旬同市l' Ariane地区とその周囲で憲兵隊150人が出動し、自動車盗を組織的に行っていたと思われる容疑者15人を逮捕しました。これまでに同グループが関わった30件程の自動車または自動二輪車盗及び1件の空き巣事件が確認されました。

2. ニース市におけるたむろ行為禁止条例の制定

ニース市では公共の場での飲酒禁止、物乞い行為の禁止等、治安向上の為様々な条例が制定されてきましたが、今回ニース駅周辺Notre-Dame地区の路上でのたむろ行為が条例により禁止されることになりました。条例はrue d' Angleterre、rue de Suisse、rue d' Italie、rue de Trachel、rue de Belgiqueで朝7時から10時、午後17時から0時の時間帯で有効となっています。

3. 防犯カメラによる監視網の強化

ニース市ではひったくり等の暴力を伴う窃盗を除いて、犯罪の発生率が減少傾向にありますが、依然証拠不足により犯人の検挙率が充分でないため、その改善を図りたい警察は既に設置してある防犯カメラに新たに27～30台の防犯カメラを加え監視網を広げていく意向です。

4. コルシカ島Linguizzettaで爆発物を発見

バスティア市から南方50km、夏季には多くのリゾート客が訪れる町Linguizzettaで3月21日朝、役場入り口のシャッターの前に不審な荷物が置かれているのが発見されました。中には起爆装置が入っておりそばに置かれたガスボンベと連結されていました。爆発物が処理されるまでの間周囲は3kmに渡って通行止めになりました。爆発物の置かれた役場は多くの児童が利用するバス停より数メートルの場所でした。

■ミディ・ピレネー地方

1. 暴力事件の多発

オート・ガロンヌ県では昨年4565件の暴力事件が発生し、発生は増加傾向にあります。深夜外出先から帰宅途中の学生がトラブルに巻き込まれる例も少なくありません。3月末トゥールーズ市で深夜Les allées Brienneを歩いていた大学生の男女が刃物で襲われました。被疑者は同年齢の男3人で、肩がぶつかったという理由で被害男性の首筋、胸部、腕の3箇所を刃物で刺し重傷を負わせ、女性も顔を殴られました。前日には午前3時頃 Les allées Jean-Jaurèsを一人で歩いていた女学生が酒に酔ったSDFの男に襲われ、首を絞められる事件が発生しています。

2. 邸宅を狙った空き巣犯を一斉検挙

3月25日、ミディ・ピレネー地方からアキテーヌ地方にかけての7県で憲兵隊総勢200人が出動し、空き巣犯の一斉検挙が行われました。結果、約30人が検挙されましたが、被疑者達はフランス南西部の邸宅ばかりを狙い犯行を繰り返しており、家宅捜査の際には総額百万ユーロ程の金品が押収されました。

3. モンペリエ市における携帯電話の連続強奪事件の発生

3月20日モンペリエ市Malbosc地区の公園で13才の少女が2人組の覆面をした男に襲われ携帯電話を奪われました。事件の15分前にも同じ場所で別の少女が押し倒され、殴られた上携帯電話を奪われました。同地区では特に公園周辺、トラムウェイ駅で同様の強奪事件が増加している事から警察は捜査を進めています。

4. 花粉症の発症報告

地中海地方では例年より1ヶ月程早くスギ花粉の飛散が観測され、花粉症の発症が3月初旬より報告されています。暖冬の影響で花粉が飛散する期間が延びていることや、ディーゼル車から排出される微粒子により気管支や粘膜が傷つけられ敏感になる事から近年では花粉症患者数の増加が目立っています。